

火 町消防団夜警活動の用心、女性消防団員も呼び掛け

町消防団では、3月15日から5月2日の間、町内各所で夜警活動を行っています。4月16日、21日、28日には、女性消防団員が夕方から夜にかけて、広報車で町内パトロールを実施。台所で火を使う時間帯に合わせて、「空気が乾燥し、火災が起きやすくなっています。火の取り扱いには十分注意しましょう」と呼び掛けました。

町消防団では、随時団員を募集しています。町の安全を守り、安心して暮らせる生活のためには、消防団員の力が必要です。興味のある人は、生活環境課 危機管理係（☎582-2123）まで。



▲真っ赤な防災活動車に乗って、火災予防を呼び掛ける女性消防団員



▲スペシャルピザを堪能しようと多くの人が店を訪れました

特 LegareKoori・PizzaSta オープン3周年 特別メニューで開店3周年を祝う

農業振興活動拠点施設「LegareKoori（レガレこおり）」および「PizzaSta（ピザスタ）」が、今春オープン3周年を迎えました。これを記念して、4月20日から25日を「3周年記念WEEK」とし、イベントを開催しました。期間中、スペシャルマルゲリータを提供するほか、利用者に次回以降使えるクーポン券を配布しました。同施設を運営する町振興公社の渡邊美昭理事長は「皆さんのおかげで、3周年を迎えることができました。今後も食を通して、町内外の皆さんの交流が生まれるような施設を目指したい」と話しました。

密 第2回ワクチン接種シミュレーションを防ぎ、スムーズに対応するために

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種シミュレーションが4月21日、やすらぎ園で行われ、町民を代表して保健協力員など15人が参加しました。2回目となる今回は、町職員のみで行われた第1回シミュレーションの反省点を生かしながら実施。実際に接種を担当する病院ワクチン接種チームの立ち会いの下、受付から予診票の確認、医師による問診、ワクチン接種、経過観察までの一連の流れを行いました。アナフィラキシーショックなどのさまざまな起こり得る状況想定し、町職員らが本番での注意点を再確認しました。



▲町民の皆さんが被接種者役となり、町職員らがワクチン接種の流れを確認しました



▲町のロゴマークのアイコンが目印。ぜひフォローをよろしくお願いします

町 町公式 YouTube 動画発信中 町の魅力や情報を動画に

町では、町公式 YouTube チャンネル「献上桃の郷 桑折町」にて、催しや町長メッセージなどの動画配信を行っています。これまで、半田山自然公園の桜の開花状況や昨年開催された相馬福島道路の現場見学会、桑折西山城復元祭などの様子を投稿。今後も四季折々の風景やイベントの様子なども随時配信していきますので、ぜひチャンネル登録をしてご覧ください。YouTube の他にも、Twitter や Instagram、Facebook などの各種 SNS で、利用者のニーズに合わせて広く情報を発信しています。

支 東京電力ホールディングス(株)に損害賠償請求 払いに向けて、早期対応を求める

町では、東京電力福島原子力発電所事故によって生じた「令和元年度一般会計歳出の事故対策に係る費用」について3月30日、東京電力ホールディングス株式会社に対して、37,586,183円分の損害賠償請求を行いました。高橋町長は「一般会計に係る損害額の早期支払に向け、誠意ある対応をしてほしい」と改めて求め、竹元一義福島復興本社公共補償センター所長に請求書を手渡しました。併せて、原発事故の原因者として、迅速かつ確実に賠償することなどを求める要求書（原子力損害賠償完全実施と事故対策に関する要求）を手渡しました。



▲東電へ損害賠償請求書および要求書を手渡す高橋町長と片平秀雄町議会議長



▲「きれいな花が咲きますように」と桜の若木に土をかぶせる代表児童と高橋町長

桜 桜橋本店より桜贈呈 植樹「大きくなあれ」

役場新庁舎落成を記念して、建築施工会社の株式会社橋本店から贈られた桜の植樹式が3月30日に行われました。高橋町長をはじめ、児童館に通う渡部晶斗さん、澁谷虎珀さん、工藤詩織さん、渡邊那奈海さんがソメイヨシノの若木を植えました。高橋町長が「これからみんなが大きくなるにつれて、この桜の木も大きく成長して満開の花を咲かせることでしょう。今日のことを思い出して、桜を見に来てくださいね」とあいさつしました。続いて、子どもたちが「大きくなあれ」と声を掛けながら、木の根元にスコップで土をかぶせました。

パ 羽山産業(株)に新しいごみ収集車が誕生 パンダのごみ収集車、子どもに大人気

町内のごみ回収を行う羽山産業株式会社で、新たにパンダの絵が描かれたごみ収集車が完成し、4月1日から町内を走り回っています。同社の佐藤繁雄代表取締役が「町の子供たちに、ごみ問題について関心をもってもらいたい」との思いで企画。これまでも、ライオンやカバがあらわれたごみ収集車を手掛け、今回は3台目になります。佐藤さんは「動物の絵が描いてあるごみ収集車で町内を回っていると、子どもたちが手を振ってくれたり、笑顔に向けてくれたりすることが多い。これを機に、ごみ削減へ協力してもらえたら」と話します。



▲新しいパンダのごみ収集車とともに、「ごみを減らそう」と呼び掛ける佐藤さん

地 自衛官募集相談員に委嘱状交付 域に根差した活動を

自衛官募集相談員委嘱状交付式が4月12日、役場で行われ、引き続き相談員となる佐々木徹さんに、高橋町長と佐藤由則自衛隊福島地方協力本部副部長から委嘱状が交付されました。交付後、高橋町長は「自衛官は、国の防衛・災害時の救助活動など、なくてはならない大切な職業。崇高な任務に就こうとする人材発掘のため、地域に根差した活動をお願いします」とあいさつ。佐藤副部長は「少子化、雇用状況などにより自衛官の募集環境は厳しい状況。質の高い人材確保のため、地域の情報提供など、協力をお願いしたい」と話しました。



▲引き続き質の高い人材確保への協力を努める佐々木さん（写真中央）